

人権教育全体計画構造図

学校教育目標 健康な心と体をもってたくましく生きぬく子
(知) 自らの課題解決に向けて、じっくり考え判断し、伝えたいことを自分の言葉ではっきりと表現できる子どもを育てます。 (徳) 自分にしっかりと向き合い、他者を思いやり、礼儀正しく行動する子どもを育てます。 (体) 自分や人の生命を大切にするとともに、心と体の健康のために生活改善ができる子を育てます。 (公) 様々な人々とのかかわりや学んだことを生かして、ものの見方や考え方をひろげながら、自らの生き方を切り拓いていくことができる子を育てます。 (開) 地域の一員として「ひと、もの、こと」に積極的にかかわり、課題に気づき、解決していこうとする子どもを育てます。

◇小中一貫教育推進ブロックにおける9年間で育てる子ども像 『TWO YOU』～優「自己にも他者にも思いやりのある子」・勇「未来を見据え、一歩踏み出し、表現できる子」	◇横浜市の人権教育2つの理念 「だれもが」「安心して」「豊かに」生活できる学校をめざして・人とのつながりから学び、自分も他の人も大切にできる子どもの育成
---	---

人権教育目標 基本的人権を尊重し、差別や偏見をなくし、互いを思いやり高め合うことのできる子ども

友だちとかかわり、伝え合う中で自尊感情を高め、つながりが深まる豊かな学校生活

<p>★伝え合うことで、考えを広げたり深めたりする子どもの育成</p> <p>○課題解決を重視した学習の充実 めあてや課題解決的な学習を充実させていくことで、子どもたちが共に学び合い、自己肯定感を高めていく学習を展開する。</p> <p>○特別支援教育の充実 一人一人のニーズに応じた指導・支援の計画を立て、個々の子どもに合った学習を実現する。</p> <p>○児童指導の充実 YPアセスメントなどを利用し児童一人一人の学校生活への思いを把握して学級経営・学年経営に生かす。</p>	<p>★相手の心の痛みがわかり、相手に立って考えられる心豊かな子どもの育成</p> <p>○「特別の教科・道徳」の時間の充実 年間指導計画をもとに他教科・領域との関連を図る。</p> <p>○確かな人権感覚・意識の育成 子どもたちが自分の生活を振り返り、学級・学年で課題を取り上げて人権感覚・意識を高める。</p> <p>○体験活動の充実 集団宿泊体験学習や異学年交流活動を設定し、仲間とともに活動してつながり合う大切さを体験する。</p> <p>○豊かな感性や情操の育成 月ごとの歌を全校で歌う、読書タイムや読み聞かせ、音楽・図工等の学習により豊かな情操を育成する。</p>	<p>◆人権意識を高める活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入学式での6年生との交流 ・1年生を迎える会 ・1年朝学習への6年お手伝い活動 ・たてわり体力テスト ・きらきらタイム(異学年交流) ・きらきらロングタイム ・音楽朝会(年10回) ・6年日光修学旅行 ・5年御殿場宿泊体験学習 ・4年野島宿泊体験学習 ・個別級近隣校との交流会 ・運動会 ・能見台っ子フェスティバル ・Ⅰ期、Ⅱ期、Ⅲ期振り返りの会 ・読書タイム、読み聞かせの会 ・5年6年引き継ぎの会 ・小中交流会 ・卒業生を送る会
---	--	---

目の前にいる子を大切にしたり、わかりやすい授業	「気になる子」の居場所とつながりをつくる学級経営	いじめを許さない風土づくりをめざす学校環境	家庭・地域とのつながり SC・SS・区役所・警察・児相との連携
-------------------------	--------------------------	-----------------------	---------------------------------

教職員の人権感覚を磨く

人権教育富岡中ブロックでの取り組み・小中一貫ブロックでの連携・人権週間の取り組み・人権研修会